

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	グループではいつでも主治医、ご家族、職員が対応出来るように常に連携をとり総合的な支援をし、慌てないようにしているが、正しい状況判断も課題の一つとなっている。	利用者や家族の意向を確認しながらかかりつけ医と話し合い対応している。ホームとしては最大限の努力はしている。	医療、福祉の連携のもと総合的な支援をに努めている。ターミナルケアに関して主治医、ご家族、スタッフ共同の確認書を作成のもと、職員の目の届く所に掲示し、カンファレンスでは職員が繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	1ヶ月
2	5	カンファレンスでの席上、ベルトをはずすこと、はずさないことの相違点を書き出して見たが結局、危険度の高いほうが優先となり、現在に至っている。ご家族の面接の折、安全確保の為、再度にわたりベルトの必要性を強く要望される。	もう一度、心身の状態を正確にアセスメントし、身体拘束をしない状態を作り出す方向を追求していくことが重要だと考えている。	ご家族に承諾書を得ているがベルトをはずした状態を見ていただき納得をしていただくことも必要。身体拘束を必要としない状態の実現をめざし、代替的な方法も考えていく。	3ヶ月
3	13	消防署の指導を仰ぎホーム独自の防災訓練計画書を作成しているが街中にあるグループなので地域との協力体制が難しい。	災害発生時、のマニュアルがあるが上手く機能していないので研修、非難訓練を定期的に行う。	運営推進会議などで話し合い、地域との合同訓練などを計画する。災害時に、昼夜問わず入居者が避難出来る方法を身につけ、日ごろより地域の協力を得られるように働きかけていきたい。	6ヶ月
4	3	運営推進会議や家族会にご家族等の意見、不満、苦情を聞く機会を設けているがご家族の出席者が少ない。	ご家族に運営推進会議をもっとアピールし、意見交換していただき良いケアに結び付けていきたい。	多方面の参加の方がいるが地域での関係づくりをもっと濃厚にする為、住民への声かけを積極的にしていく。	6ヶ月
5	20	安全確保の為の配慮が多く、作りつけのタンスがある為必要以上に物を置かないようにして欲しい旨のご家族の要望がある。	状態に応じ、ご家族との連携をしていきたい。	面会の折にご家族と協議しながら、使い慣れたものを持ってきていただくように話し合っていきたい。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。